



築館地区の互市

旧築館町は、杉葉師の門前町として、又、陸羽街道の宿場町として、永い歴史とともに発展を遂げてきた町である。宮城県の北端、栗原市中央部に位置し、仙台市より六十五キロメートルの距離にあり、晴れた日にはくつきりと北西に栗駒山が見える。この山を源を発する迫川の清流が町を東西に流れている。町の中心を南北に国道四号が走り、東道や町道が縦横にあり、東北縦貫自動車道の築館インターチェンジが設置され地方交通上の重要な中心地である。又、杉葉師を始め文化財に富み、歴史の伝統を多く残している。築館の互市は、葉師登山口にある互市の石碑によると、発祥は安永四年（一七七五年）と記されているが、あるいは

伝統の「互市」
(旧築館町・旧高清水町)

MY TOWN

ホット情報

栗原市

伝統の互市&

カリヨン朝市

栗原南部商工会

その以前より互市があったと思われまふ。(広報つきだて昭和三十年五月十五日発行、互市のお話・白鳥白陽氏記事より抜粋) 物々交換から始まった互市は、杉薬師の縁日(旧正月八日、四月八日、九月八日)に開かれ、近郷近在から大勢の人々が集まり、参道を中心に店を出し、桶類・荒物、農作業用具、花木、苗木、衣料品など生活必需品を商う一大イベントであった。現在は、年三八(三月二十一日、二十一日、三月二十一日、三月二十一日)の各二日間)の開催であり、歴史の香りが漂う懐かしい縁日である。

旧高清水町は、県北部、栗原市の表玄関。町の真ん中を国道四号が通っており、昔から交通の要所として栄えていた。このようなことから国道四号沿いの店が並び、品物を交換する互市が開かれてきた。高清水の互市は、安永の火災、天保の飢饉と続く災害の中にあつて、生活の苦渋から抜けきれない村民をみて、天保七年(一八三六年)の時、有力者が仙台藩に「一市」を開こうと願ひだつたのが発端である。(一八六三年)に許可がおり、「互市」が始められた。以前は、三互市といつて正月・三月・九月の年三回開かれていたが、交通量の増加で、昭和四十二年から春の三月二十九・三十日と秋の十月二十九・三十日の年二回となり、開催場所も桜丁通り(高清水中学校通り)に変わった。市は、牟良佐喜(むらさき)神社の祭礼とあわせて開かれる。近隣の町村からも訪れる人が多く、終日たくさんの人で賑わっている。

「もち豚」の特徴は大変やわらかく、脂身がサッパリして甘みがあることです。豚肉特有の臭いもなく、疲労回復や高血圧予防、美容、瘦果があるビタミンEが一般豚の約七倍も含まれています。飼料は高品質のとうもろこし、大豆粕など厳選された天然植物素材をベースにつくられています。生産段階における飼養管理については薬に頼らない衛生管理システムを確立したことが評価され、平成十六年「第三十三回日本農業賞・大賞」を受賞しております。

この「もち豚」の生産直売所が大河原町の西方に位置する。とんとんの丘「もちぶた館」です。もちぶた館は、直営農場で育てあげた「もち豚」、惣菜肉やハム・ソーセージ、惣菜品をはじめとし、仙南地域の農産物（野菜・果実・お米・鶏卵等）や農産加工品、地場産品等も販売する生産者の顔が見えるお店です。

店舗周辺は里山に囲まれて自然とつながり！隣接する、とんとんの丘「わんぱくの森」にはポニーやヒツジなど十種類のかわいい動物達が顔をそろえています。

わがまち
自慢
(特産品)

ビタミンEが一般豚の七倍！
大河原町産「もち豚」

大河原町商工会

平成二年三月、栗原郡の表玄関として、又、交通拠点として「くりこま高原駅」が志波姫町に開業いたしました。それと合わせて志波姫町の特産品等を町民はもとより他の地域の方々にも広くPRすると共に、地域住民のふれあいの場を提供し地域活性化を図る目的で平成四年五月十八日、カリヨン朝市実行委員会が設立されました。（カリヨンとは「フランス語で鐘を意味します。」）

この会は、町、商工会、JAが三者一体となり事業を運営し、現在、事務局を商工会内に置いております。くりこま高原駅前広場を会場に四月

カリヨン朝市

(旧志波姫町)

から十月まで第二、第四日曜日に開催され（年十三回）、朝六時の打上げ花火を合図に始まり、客が朝五時すぎには店に並び大変好評を得ております。新鮮な魚介類の販売、そして地区内からは新鮮な野菜等が販売されますが、設立以来の来客数・売上状況等を見ますと年々減少傾向にあり、その対策のひとつとして、コーヒの無料サービス・先着百名様へのサービス品の提供等を実施し、売上確保に努めておりますが、その減少を食い止めるまでには至っていないのが現状です。今後、市内にある各朝市団体については、組織強化のため一本化する方向で早急に検討することが必要で



大河原特産の「もち豚」

来年二月には敷地内に日帰り温浴施設がおがわら天然温泉「もち豚」と地域予定材す。「もち豚」がオーブンの食材をメインとしたレストランも併設されます。お楽しみに！
最新情報はこちらから
<http://www.hill-s.co.jp/shop>



志波姫地区のカリヨン朝市

あり、消費者に魅力あるサービスを提供するとともに、いつまでも愛される朝市でありたい。